

厚生労働省
新型インフルエンザの診療に関する研修

新型インフルエンザ（パンデミック2009）
の総括および
鳥インフルエンザ(A/H5N1)の流行の現状

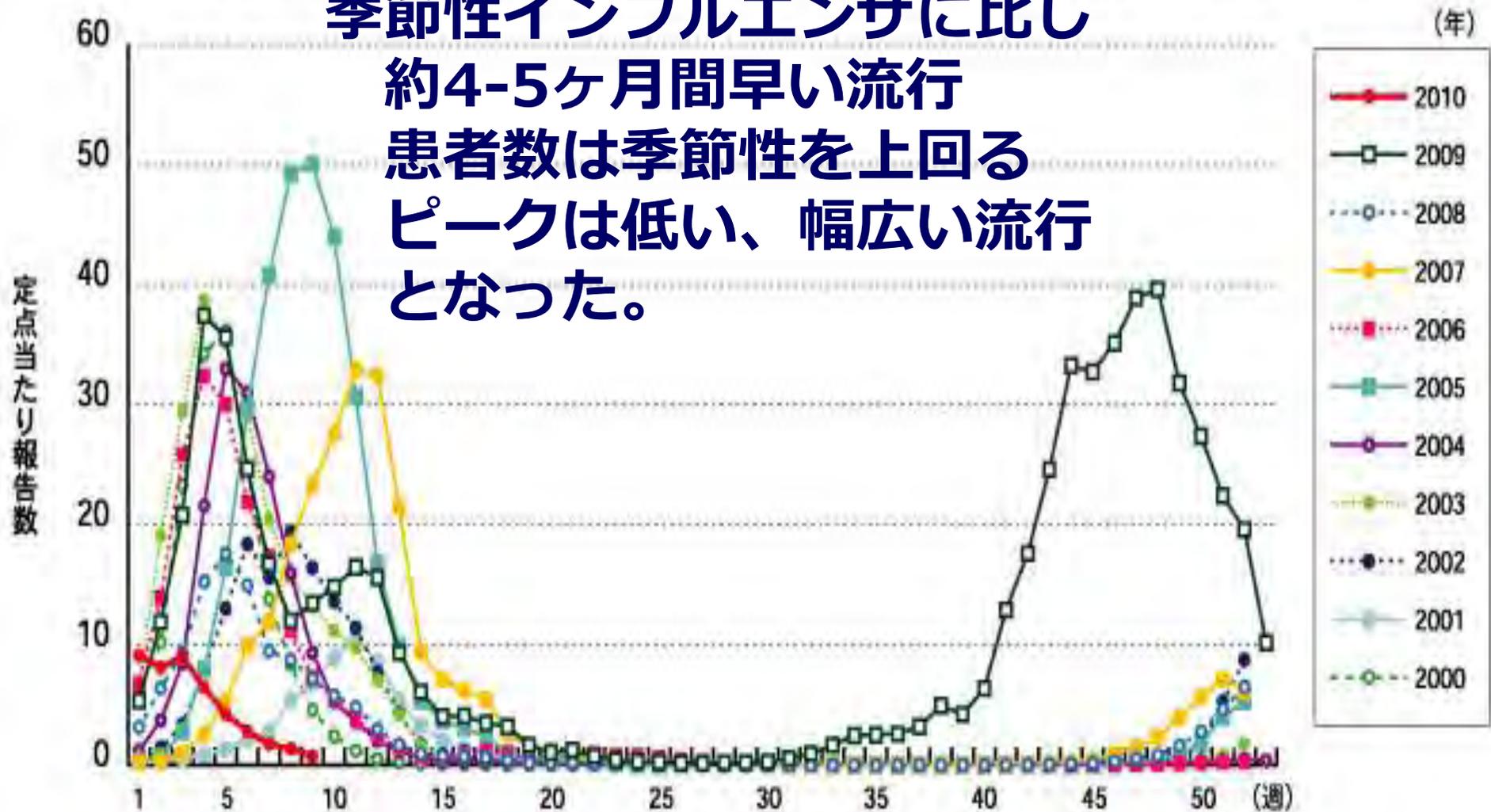
岡部信彦
国立感染症研究所感染症情報センター
平成23年11月6日

- **新型インフルエンザ**
Novel influenza, New influenza
- **ブタ(由来)インフルエンザ**
Swine influenza, Swine originated influenza (OIV)
- **パンデミックインフルエンザ 2009**
Pandemic influenza A/H1N1 2009
Influenza A/H1N1 pdm 09

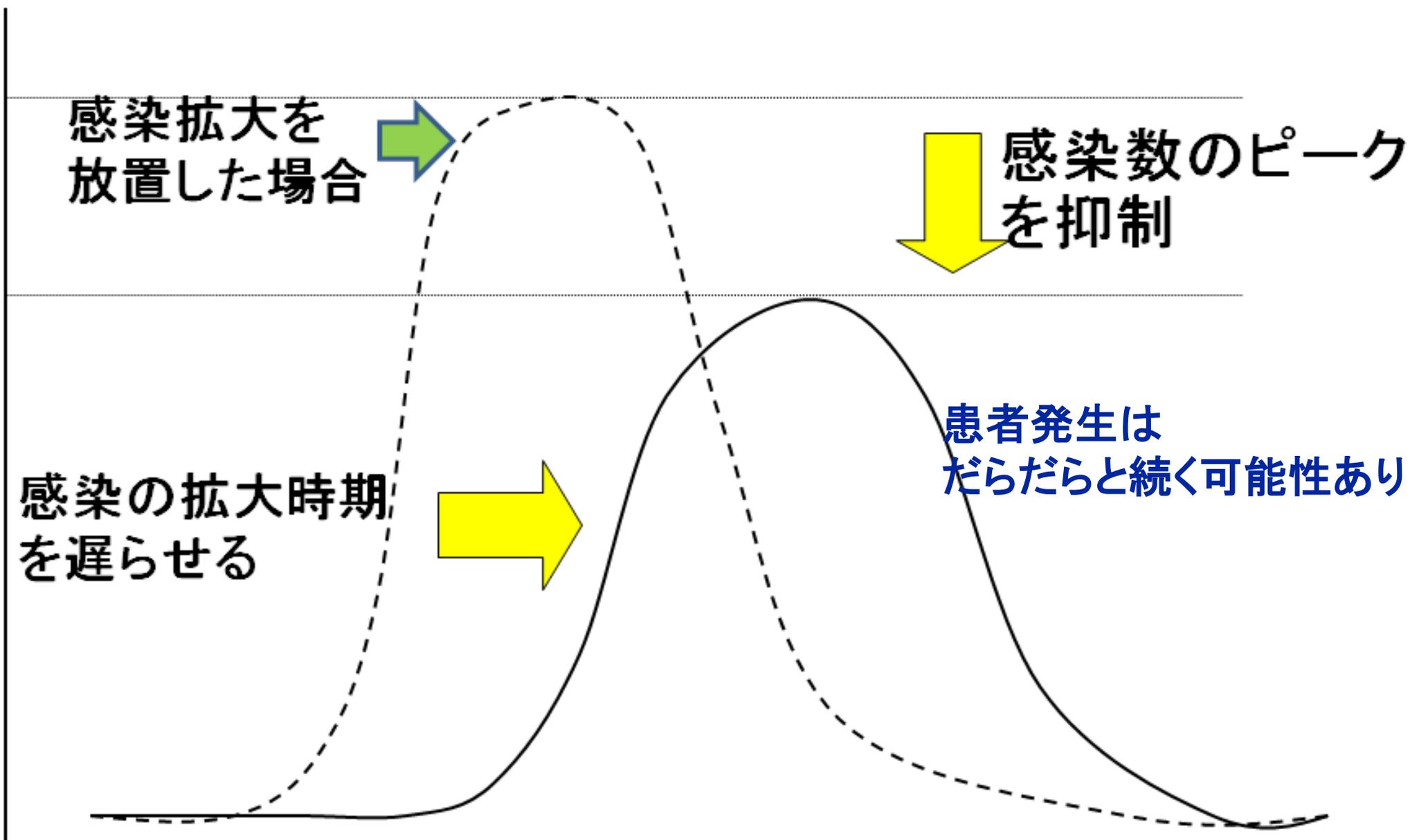
- 日本では長く「**新型インフルエンザ**」とよび続けており、ここでも便宜上「**新型インフルエンザ**」という名称をしばしば使っているが**平成23年4月1日より、行政的用語としての「新型インフルエンザ」は解消され、季節性インフルエンザへ移行したことが厚生労働大臣より宣言された**

図1. インフルエンザの年別・週別発生状況(2000~2010年第9週)

**季節性インフルエンザに比し
約4-5ヶ月間早い流行
患者数は季節性を上回る
ピークは低い、幅広い流行
となった。**

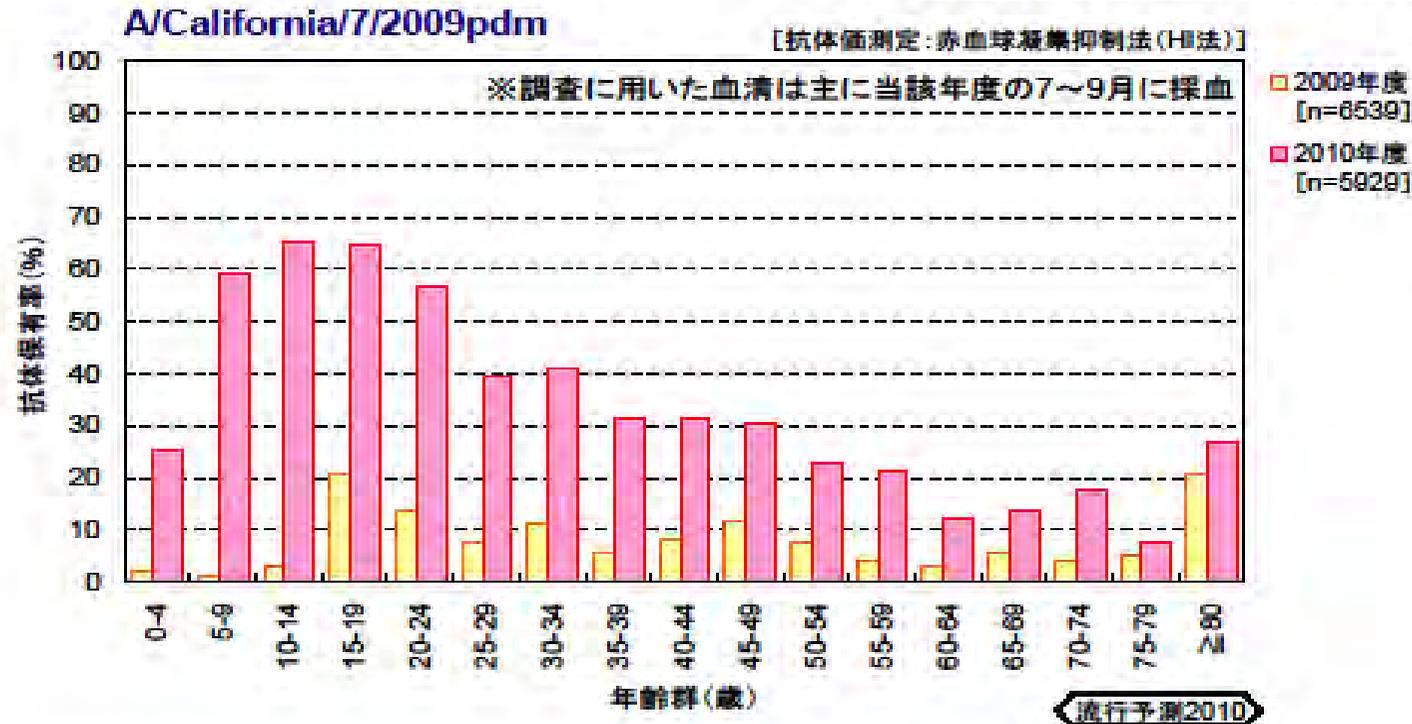


患者数の急激で大規模な増加を抑制・緩和



年齢群別のインフルエンザ抗体保有状況(HI抗体価 \geq 1:40)の年度比較

※2010年度の結果は2010年11月25日現在暫定値



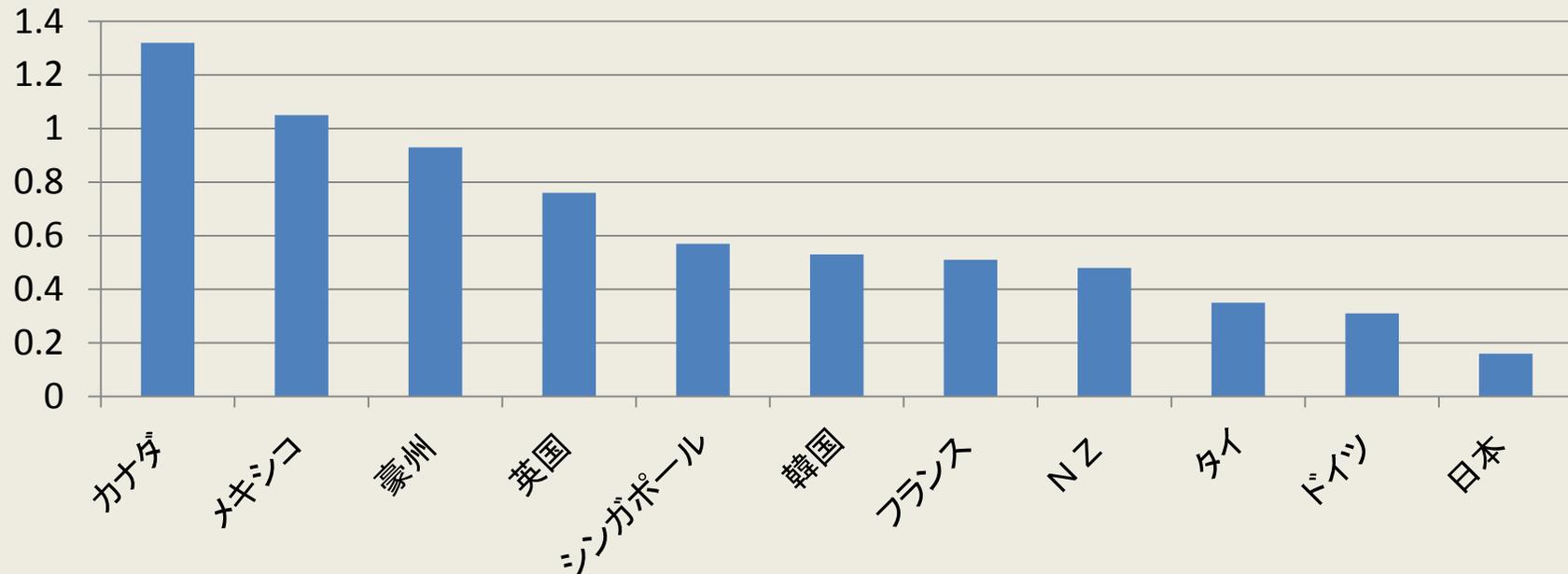
HI抗体価 \geq 1:40抗体保有率(%)

	0-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-34	35-39	40-44	45-49	50-54	55-59	60-64	65-69	70-74	75-79	≥80
2009年度	2	1	3	21	14	8	11	6	8	12	8	4	3	5	4	5	21
2010年度	25	59	65	65	56	40	41	31	31	30	23	21	12	14	18	8	27

新型インフルエンザの死亡率の各国比較

	米国	カナダ	メキシコ	豪州	英国	シンガポール	韓国	フランス	NZ	タイ	ドイツ	日本
集計日	2/13	4/10	3/12	3/12	3/14	4月末	5/14	—	3/21	—	5/18	5/26
死亡数	推計 12,000	428	1,111	191	457	25	257	312	20	225	255	199
人口10万 対 死亡率	(3.96)	1.32	1.05	0.93	0.76	0.57	0.53	0.51	0.48	0.35	0.31	0.16
PCR	—	全例	—	—	—	全例	全例	260名はPCR で確定	—	全例	—	184名はPCR で確定

※尚、各国の死亡数に関してはそれぞれ定義が異なり、一義的に比較対象とならないことに留意が必要。



日本呼吸器療法学会

新型インフルエンザ人工呼吸器装着例登録

- 2010.1.22まで 88例 (2-83歳 – 中央値10歳)
- 死亡 13例
 - 15歳未満 1/48
 - 15歳以上 12/38

成人	38例
妊婦	0
BMI 25以上	16 (生存12 死亡4)
25以下	5 (生存 5 死亡1)

* 妊婦、肥満は死亡の危険因子とはなっていない

– 成育医療センター 中川 聡先生

厚生労働省

報告のあった死亡者203例中に妊婦例なし

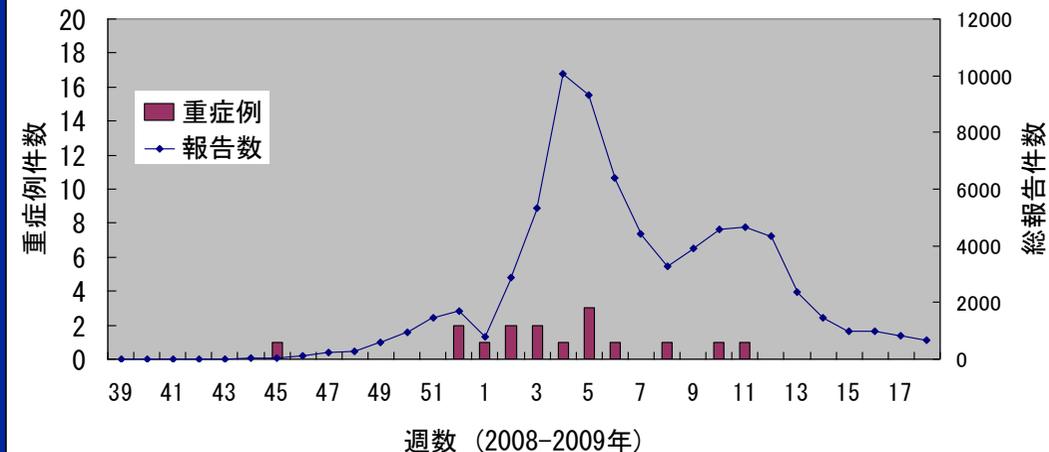
日本小児科学会

新生児死亡例、NICU管理例はなかった

早産例が多かった

報告数推移と重症例報告件数

報告数の推移と重症例数 (2008-2009年)



総報告数

- 2008-09年 : 72760件 (第39-18週)
- 2009-10年 : 86250件 (第27-05週)

重症例

- 2008-09年 : 16件
 - 0.22/1000件
- 2009-10年 : 157件
 - 1.80/1000件

最多報告週

- 2008年 : 第4週 - 10074件
- 2009年 : 第48週 - 8465件

- 2009-2010年シーズンに重症と報告された症例が多い。

報告数の推移と重症例数 (2009-2010年)

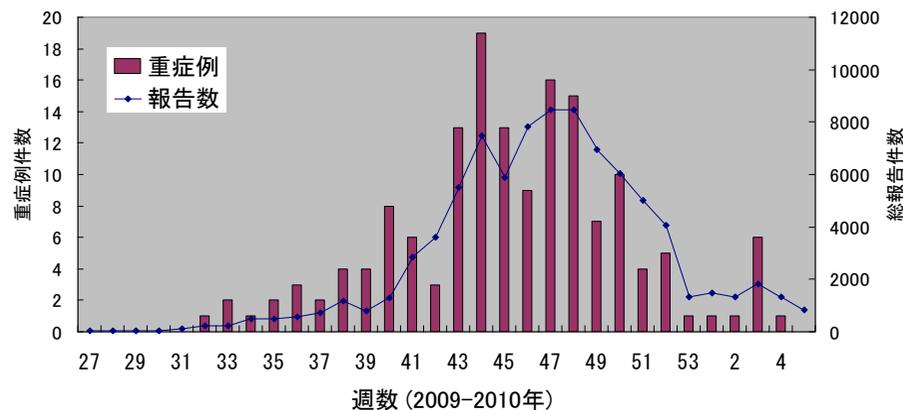
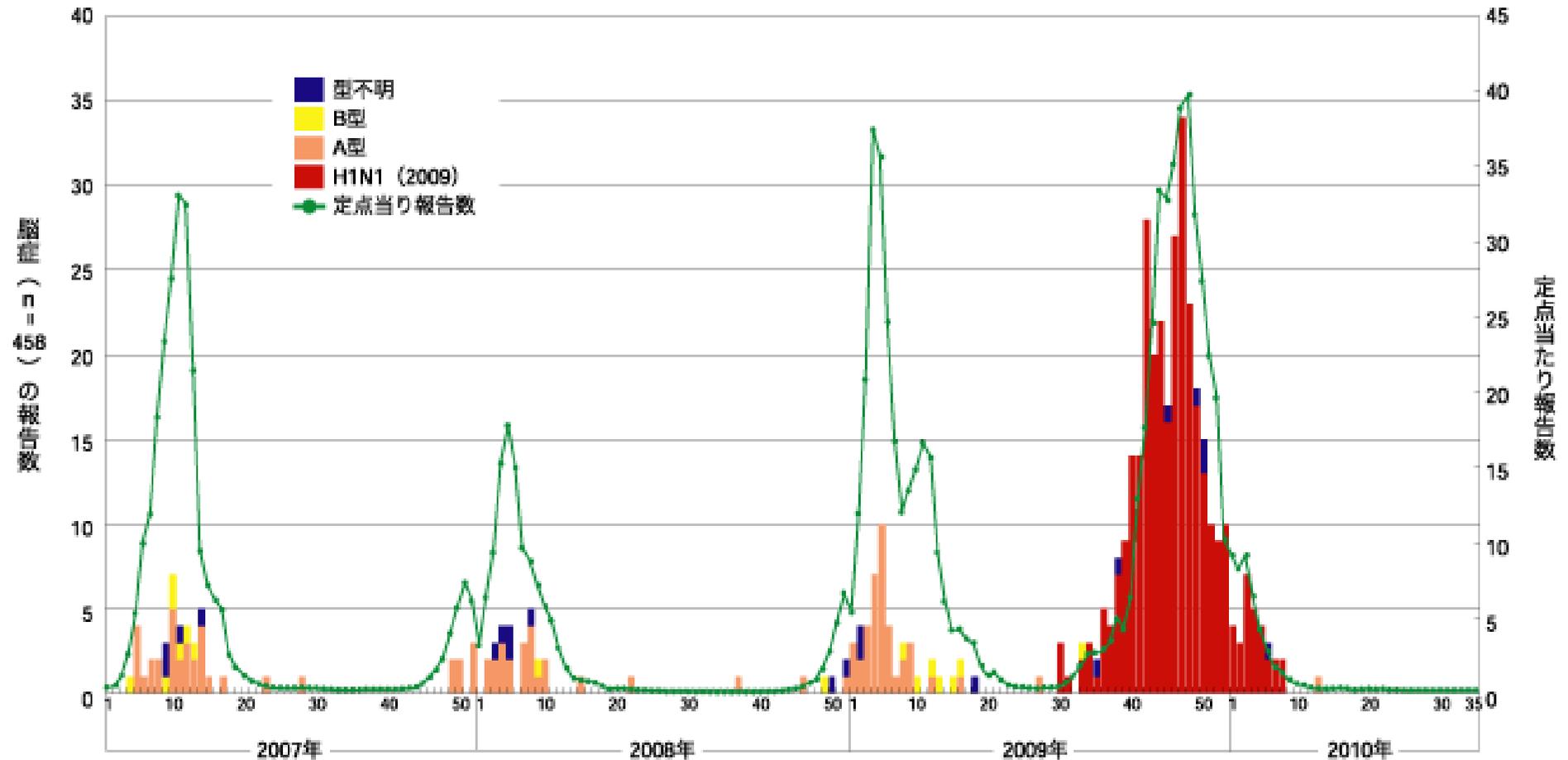


図1. インフルエンザウイルス型別インフルエンザ脳症報告数
及びインフルエンザ定点当たり報告数の推移(2007～2010年第35週)



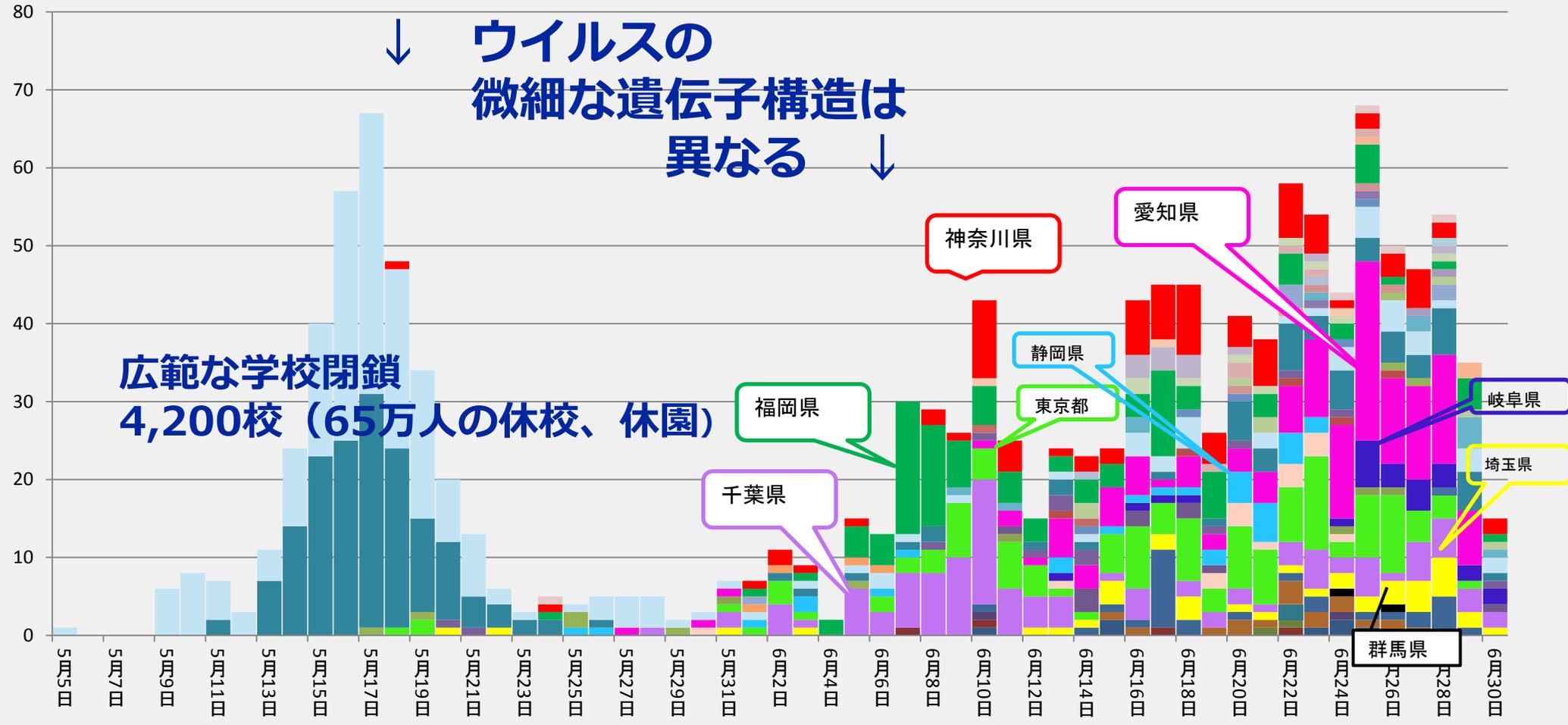
自治体別発生状況(n=1343*)

*7月2日現在厚労省把握分の1428例中発症日と自治体が把握できた症例

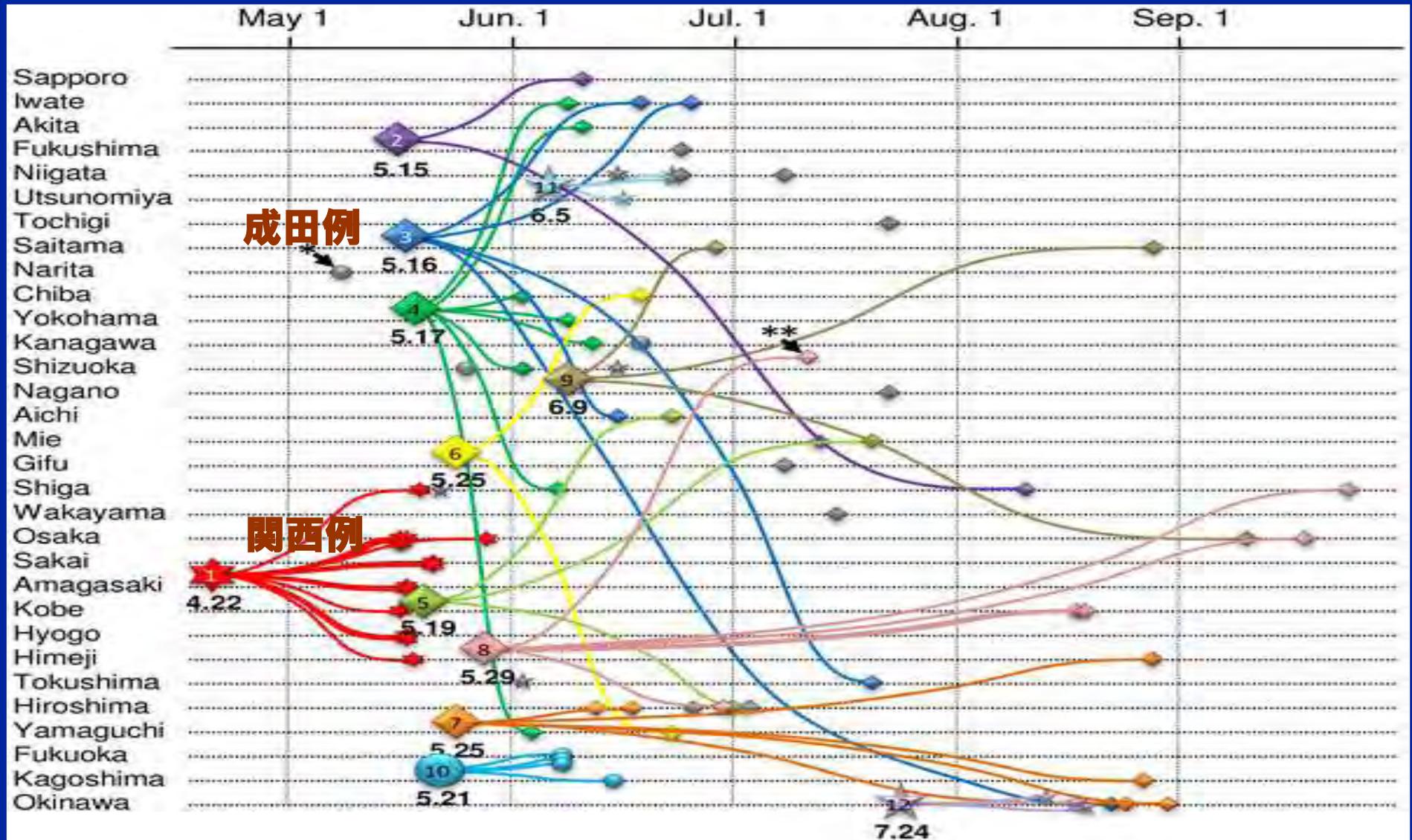
- 北海道 岩手県 宮城県 秋田県 福島県 茨城県 栃木県 群馬県 埼玉県 千葉県 東京都 新潟県 富山県 石川県 山梨県
- 長野県 岐阜県 静岡県 愛知県 三重県 滋賀県 京都府 大阪府 兵庫県 奈良県 鳥取県 島根県 岡山県 広島県 山口県
- 徳島県 香川県 愛媛県 高知県 福岡県 佐賀県 長崎県 熊本県 大分県 宮崎県 沖縄県 鹿児島県 神奈川県 和歌山県

↓ ウイルスの
微細な遺伝子構造は
異なる ↓

広範な学校閉鎖
4,200校 (65万人の休校、休園)



日本国内の感染クラスター（micro-clade）の感染拡大の様相



日本の新型インフルエンザ

- 騒ぎすぎ？ やりすぎ？
- 患者数はともかく
致死率・妊婦重症化率は、世界最低・・・
(ウイルスは同一)
- 空港などでの検疫強化？
- 大規模な学校閉鎖？
- タミフルなどほとんどが使用した？
- ワクチン？
- 手洗い、マスク、うがい？

日本の新型インフルエンザ

- 皆が知っていて注意をした
- 個人衛生レベルが高い
- 医療機関への受診が容易→**医療機関は大変だった！**
- 医療費が安い
- 多くの人が結局まじめに取り組んだ・・・

- **通常の医療体制の延長では危機管理としての対応が出来ない、
という認識を各方面が持つべき**